

2004年1月27日

報道用資料**現代、フォード、ホンダ、タタの車が、インドにおける商品性評価でトップ****2003年インド自動車商品性評価(APEAL)調査**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J. D. パワーアジア・パシフィック（本社東京、蓮見南海男社長、略称 J. D. パワー）は、2003年インド自動車商品性評価（Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL）調査の結果を発表した。

当調査は、新車購入時から2～6ヶ月経過した車を対象に、自動車の満足度の重要な要素である性能や装備品、デザインに関する商品性魅力度についてユーザー評価を調べるものである。6年目となった今回の調査では、2003年1月から2003年7月までに新車を購入した3,300人以上の個人ユーザーから回答を得た。調査対象車は、11メーカー26モデルである。

評価の内容は、「エンジン/トランスミッション」、「乗り心地/ハンドリング」、「快適性/利便性」、「シート」、「内装/インパネ」、「空調関係」、「オーディオ」、「スタイリング/外装」の8つのカテゴリーで構成され、評価項目は100項目以上に及ぶ。

◆業界全体で車の魅力度の改善維持◆

業界全体の APEAL スコアは堅調な増加傾向を維持し、1,000点満点の APEAL スコアは前回（2002年実施）よりも3ポイント多い765ポイントだった。また、調査対象となった11メーカーのうち7社のスコアが向上していた。

セグメント別ランキングでは、プレミアム・コンパクトカー・セグメントで、現代・サントロが4年連続で第1位になった。第2位と第3位にはマルチのワゴンRとアルトがそれぞれランクインした。当セグメントは非常に競争が激しく、上位3モデルのポイント差はわずかだった。

エントリー・ミッドサイズカー・セグメントの第1位はフォード・アイコンで、前回のスコアを9ポイント上回った。オペル・コルサ/スウィングはスコアが24ポイント増加し第2位に入った。

世界的に見て、ほとんどの車は年を追うごとにはっきりとしたライフサイクルの道をたどり、APEAL スコアも低下している。しかしながら現代・サントロやフォード・アイコンなどは、商品魅力度向上のために絶えず新たなモデルチェンジ車を市場に投入してスコアの低下を食い止めている。新型車や

モデルチェンジ車の投入は商品を差別化するための良い機会であるだけでなく、消費者が最新モデルの発売を待ち望んでいることから必要不可欠である。商品魅力度の高い車は、顧客の支持やロイヤルティが高い傾向にあり、メーカーの収益に直接影響を与えることになる。

今回初めてランキングが実施されたミッドサイズカー・セグメントでは、ホンダ・シティが前回から14ポイントスコアを増やしてトップになった。以下、HM（ヒンダスタン・モーターズ）/三菱・ランサー、現代・アクセントと続き、どちらもスコアを11ポイント伸ばした。

MUV/SUV セグメントの平均スコアは、2002年に比べて35ポイント上昇した。第1位はタタ・サファリで33ポイントスコアを増やした。第2位には同点でマヒンドラ・スコルピオとトヨタ・クオリスが入った。MUV/SUVセグメントの車はそれぞれが独自の強みを持っている。トヨタ・クオリスは車の技術面が優れており、マヒンドラ・スコルピオは車の美しさ、タタ・サファリは室内の快適さが高く評価されている。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（略称 JDPA、本社米国カリフォルニア州）の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<本調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野

住 所： 東京都中央区日本橋富沢町10-16 マイアーク日本橋ビル（〒103-0006）

電 話： 03-5695-4568

F A X： 03-5695-0617

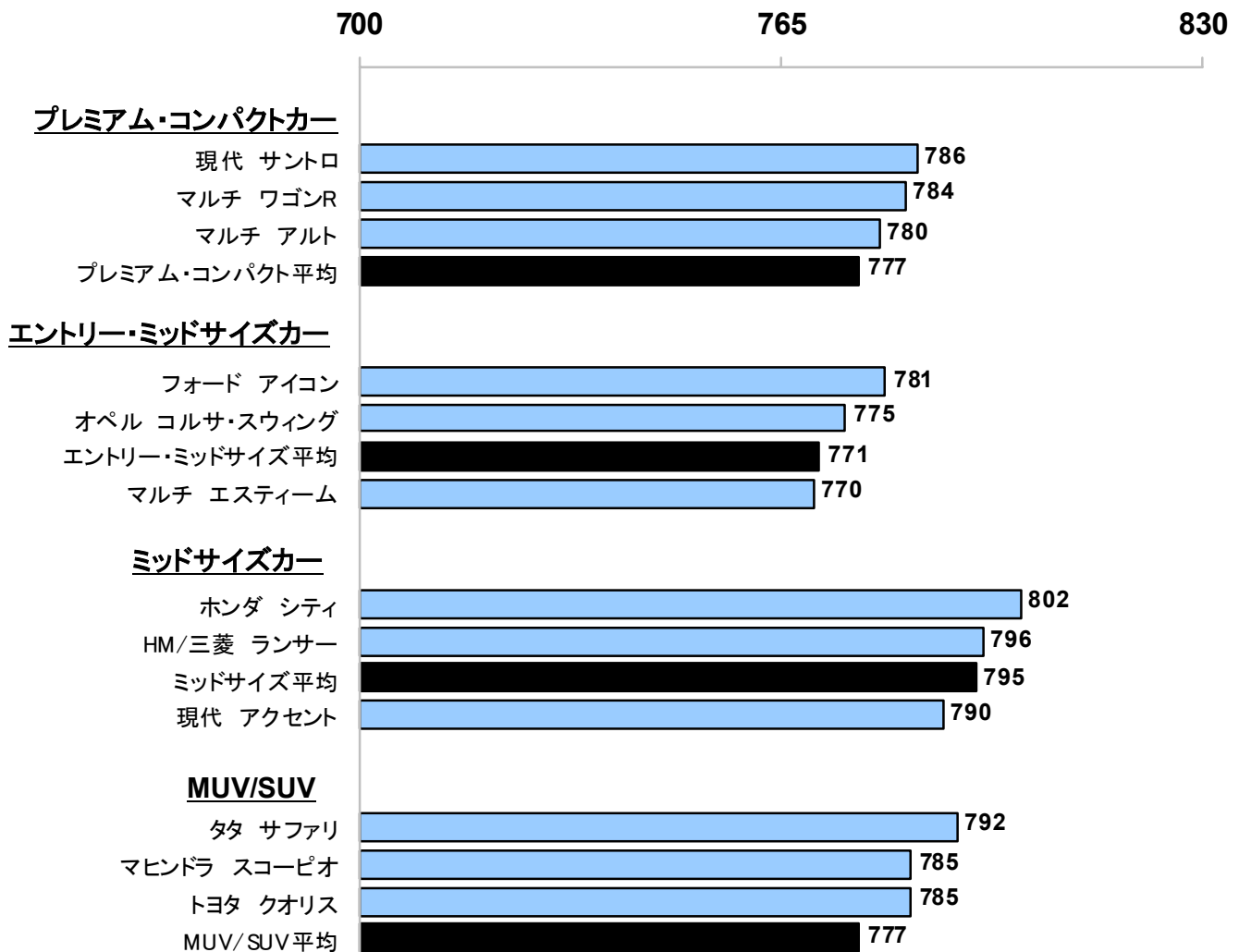
e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年インド自動車商品性評価 (APEAL) 調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル (1,000ポイント満点)



注意: エントリー・コンパクト・セグメント、プレミアム・ミッドサイズ・セグメント、エントリー・ラグジュアリー・セグメント、バン/MPVセグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年インド自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年インド自動車商品性評価調査SM) を明記して下さい。